

令和1(2019)年度共同研究評価対象一覧表(年次点検)

領域	代表者	職名	共同研究課題	開始年月	終了年月
重点	荒木浩	教授	投企する古典性—視覚／大衆／現代	2016年4月	2020年3月
重点	大塚英志	教授	「運動」としての大衆文化	2017年4月	2021年3月
重点	細川周平	教授	音と聴覚の文化史	2017年4月	2020年3月
重点	大橋直義 呉座勇一	客員准教授 助教	応永・永享期文化論—「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで—	2018年7月	2021年3月
重点	松井茂 坪井秀人	客員准教授 教授	マス・メディアの中の芸術家像	2019年4月	2020年3月
国際	磯前順一 吉村智博	教授 客員准教授	差別から見た日本宗教史再考—社寺と王権に見られる聖と賤の論理	2016年4月	2020年3月
国際	安井眞奈美 ローレンス・マルソー	教授 海外共同研究員	身体イメージの想像と展開—医療・美術・民間信仰の狭間で	2018年4月	2021年3月
基幹	伊東貴之	教授	比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想—王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼—	2016年4月	2020年3月
基幹	稲賀繁美	教授	多文化間交渉における『あいだ』の研究	2016年4月	2020年3月
基幹	井上章一 斎藤光	教授 共同研究員	近代東アジアの風俗史	2017年4月	2021年3月
基幹	マルクス・リュッターマン	教授	「かのように」という原理で形成してきた文通—「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	2018年4月	2022年3月
基幹	山田奨治	教授	縮小社会の文化創造：個・ネットワーク・資本・制度の観点から	2018年4月	2022年3月
基幹	宇野田尚哉 坪井秀人	客員教授 教授	東アジア冷戦下の日本における社会運動と文化生産	2019年4月	2020年3月
基幹	中島隆博 稲賀繁美	客員教授 教授	近代日本思想を読み直す：次世代への知の継承・刷新のためのツール開発—21世紀の国際的視野に立った学際的・総合的・批判的研究	2019年4月	2020年3月
基幹	稲垣恭子 瀧井一博	客員教授 教授	「日本型」教育文化を問い直す—新たな人間形成論をめざして	2019年4月	2020年3月

令和1(2019)年度共同研究評価対象一覧表(終了時評価)

代表者	職名	共同研究課題	開始年月	終了年月	成果出版	出版社	出版年月
稲賀繁美	教授	多文化間交渉における『あいだ』の研究	2016年4月	2020年3月	映しと移ろい：文化伝播の器と蝕変の実相	花鳥社	2019年9月
坪井秀人	教授	戦後日本文化再考	2015年4月	2018年3月	戦後日本文化再考	三人社	2019年10月
長田俊樹	客員教授	日本語の起源はどのように論じられてきたか—日本言語学史の光と影	2016年4月	2017年3月	日本語「起源」論の歴史と展望: 日本語の起源はどのように論じられてきたか	三省堂	2020年2月